



～ いっしょにふえすた2024 ～

2月3日、港区民センターで「いっしょにふえすた2024」が開催されました。今回は、トランスジェンダー当事者の河上リサさんによる講演が行われました。河上リサさんは、ニューハーフとして生活していた時期、誰にもトランスジェンダーだとわすれ埋没して過ごしていた時期があったそうです。しかし、「男と女しかない」ではなく、「そうではない人」もいるということを知ってほしいという思いから、「鏡をのぞけば」の監督兼主演をされました。河上さんは、「戦争中、外国人はこわくて何をされるかわからないと思われる時代があったが、今はそんなふうにいる人はいないでしょう？それは、年月をかけてわたしたちが相手を理解しようとしたからそのような誤解がなくなった。」と話されました。確かにそのとおりだと思いました。今、SNSなどで様々な誤解を生むような言葉が生まれています。男か女かの2択ではない様々な人々が当たり前のように隣にいるのだということをもっと世の中に可視化できれば、わたしたちの理解も深まるのではないのでしょうか。



近畿ブロック母と女性教職員の会

1月13日、リガーレ春日野にて近畿ブロック母と女性教職員の会が開催され、市教組女性部も参加しました。NPO 法人サンタピアップ代表の古川沙樹さんは、大学生のときカンボジアに訪れて、貧困の中でも楽しそうに生活している人たちや、お互いに思い合っている子どもたちに出会った時、「どうしたらこんな子どもたちに育つのか？学びたい！」と感銘を受けたそうです。カンボジアの都市部は、現在、急激に発展を遂げていますが、農村部では、まだまだ支援が行き届いていません。子どもたちは、学びたいという気持ちはあるけれど家族のために働きたいと思っている子も多くいるそうです。サンタピアップでは、貧困の連鎖を防ぐために「学校を辞めない」ことを約束に、ミサンガなどのモノづくりをしてもらい、毎月決まった額を買い取っています。現金収入を得ることで、子どもたちが学校を辞めて働きに行くことを防ぎ、気持ちよく通学できるように努めています。今、私たちができることは、ミサンガなどを「買って応援」、イベントなどで「売って応援」することです。先日行われた「いっしょにふえすた」でも、退女教の皆さんが商品を販売していたので購入しました。今回初めて知ったサンタピアップの活動に、今後も貢献していきたいです。



== 大阪城周辺フィールドワーク ==

1月20日、北部支部主催の「大阪城周辺フィールドワーク」が開催されました。ピースおおさかの展示内容や大阪城公園内の戦跡について、大阪市教職員退職者事務局長の橋口哲さんより、資料を交えた解説・案内をしていただきながら、3時間ほどのフィールドワークを行いました。橋口さんからは、「ピースおおさかは、戦争をなくし平和な世界にするための施設としては物足りない」、「多くの学校が校外学習に利用しているが、『刻の庭』の見学はあまりされていない、もっと重視してほしい」と話されました。



専門部交渉 ～少数職種の問題解決に向け厳しく追及～

2月9日、事務職員部・養護教職員部・栄養教職員部・幼稚園部は、9月27日に手交した要求書に対する回答交渉を行いました。交渉では、各専門部への文書回答をもとに再質問を行い、各職場における働き方の改善に向けて、市教委やこども青少年局を厳しく追及しました。

事務職員部は、上限を超える時間外勤務の要因分析を求めるとともに、代替未配置解消のための具体的対策について市教委を質しました。また、システム再構築に向けたスケジュールと市教委の考えを示させました。養護教職員部は、就学時健康診断の学校での実施について質問を行い、「保護者への案内については、市教委から一斉発送できるか検討したい」との回答を引き出しました。また、中学校心臓2次検診の土曜日実施を、平日に小学校で実施するよう求めました。栄養教職員部は、一部民間委託調理業者の弊害について訴え、「入札方法について検討する」との回答を引き出しました。また、給食室へのエアコン設置を要求しました。



幼稚園部は、昨年度に回答のあった無線ルーターの設置が遅れていることについて質すとともに、すべての幼稚園に更衣室を設置するよう強く要求しました。

広報部メモ

教員になり4年が経った。子どもたちから学ぶことが多くあった。当たり前だが授業前の「あいさつ」を必ずおこなう。毎授業欠かさず子どもたちに負けない声で「あいさつ」をする。「お願いします」「ありがとうございました」とあいさつをする。授業前の「あいさつ」に込める思いは授業内で子どもたちから教えてもらうので「お願いします」、子どもたちの反応から様々なことを教えてもらい「ありがとうございました」とあいさつをする。子どもたちに教えているようで逆に教えてもらっている。子どもたちから学ぶことが多くあることがわかった4年間。これからも沢山のことを子どもたちから学んでいきたい。(T)

3月の組合費の引き落としは

3月21日(木)

※働きがいのある職場を実現するため、なかまの声かけて組合員を増やしましょう！

…中央委員会… 白熱！6本の討論

1月25日、大阪市教育会館にて中央委員会が開催されました。議長に西部支部・大園中央委員、北部支部・中世古中央委員が選出され議事が進められました。執行部より「当面の闘争推進に関する件」「2023年度上半期一般会計ならびに特別会計決算報告」の提案があり、会計監査より上半期の監査報告がありました。質疑はなく討論には6人が参加し、専門部や支部・本部の取り組みについての報告がありました。採決では執行部原案が圧倒的多数の賛成により、可決・承認されました。（討論内容は以下のとおり）



戸田中央委員（女性部） 1月13日、「近B 母と女性教職員の集い」の「子どもと人権」分科会に参加しました。養護教諭として勤務していたが、高校英語の免許をとり、英語教員になった京都の方の報告。英文読解の内容を人権に関する文章にして英語で意見を書かせる取り組みを通じて、生徒たちが人権問題を意識するようになり、人権の大切さを感じられるようになったとのこと。こういう人権教育の実践が近畿に広がっていけばいいなと感じました。



花立中央委員（北部支部） 1月20日に支部の取り組みとして「大阪城周辺FW」を開催。講師に元小学校教員の橋口哲さんを招き、ピースおおさかへ。戦争で基本的人権を奪われているという視点や、日常生活の大切さ、平和的生存権が大事なことを、子どもたちに気づかせるような説明がありました。FWでは周辺の戦跡について。大阪砲兵工廠の大きさ、大阪城の弾痕、片町線が軍事物資を運ぶためにあったことなど、深い学びとなりました。



松本中央委員（西部支部） 12月の「市民の会」対市交渉では、保護者からも切実な訴えがありました。進展とは言い難い回答でした。1月13日の「おとなの民族学級体験」に参加。長年、在日朝鮮人教育に関わってきたが、自分が知らなかったことを新たに学ぶことができました。人権教育や外国人教育の実践を深め、制度を作ってきたことは市教組の強みだと思っています。その強みを生かして、組織の拡大にも取り組んでいきます。

辻岡中央委員（養護教職員部） 12月2日、学習会「助産師さんと一緒に性教育を学ぼう」を開催しました。講師の助産師会・松浦さんは西成区の小学校で性教育の実践をされています。尊い命が誕生する話を伝える中で、子どもたちがどんな環境で生活していても、一人ひとりの命はとてと尊く、大切な存在であることを伝えておられることを聞きました。終了後の交流会では、日々の業務で困ったことなど、同じようなことで悩みがあることを共有しました。



四條中央委員（栄養教職員部） 12月8日に「栄養教職員相談会」を開催しました。「水漏れについて管理職が重要視してなかったため対応が遅くなった」「管理職が民間委託調理をわかっていないので、栄養教諭の業務に支障をきたしている！」といった相談がありました。2月22日には「親睦交流会」を予定しています。仲間との交流をより深め、問題解決に前向きに取り組んでいきたいと考えています。



高岸中央委員（南部支部） 沖縄平和FWに参加。沖縄県教組元執行委員長の山本さんより説明を受けながら戦跡を巡りました。ガマで懐中電灯を消すと真っ暗闇、じめじめとした湿気…こんな状況の中、住民は避難していたのか。こうした体験を通して自分が感じたことや気付きを子どもたちに還していくことがFWに行った意味、と自分が撮った写真で新聞を作った。子どもとともに同僚教職員も平和について考えられる職場づくりの一助になれば。



日教組「7つの提言の実現を求める」全国集会

1月20日、日本教育会館と全国39のサテライト会場をオンラインでつなぎ、「7つの提言の実現を求める」全国集会が開催されました。主催者あいさつで日教組の瀧本中央執行委員長は「学校の長時間労働是正には、定数改善、業務削減、そして給特法の廃止もしくは抜本的見直しが必要として取り組んできた。教職員一人ひとりが声を上げ、全国連帯で取り組んでいこう。」と呼びかけました。

午前の部は、「日教組の7つの提言」を、一般市民にも理解してもらおう取り組みが、北海道、岐阜、新潟、奈良、沖縄、東京から報告されました。

午後は、「変える、未来へつなぐシンポジウム」と題して、パネルディスカッションが行われました。千葉さん（岩手高）、向山さん（山梨）、内田さん（岡山）、大塚さん（大分）の4人が、パネラーとして自分の経験にもとづいてそれぞれ意見を述べました。現場が多忙で休みが取れず、不妊治療に通えないまま気が付けば健康な卵子が作れなくなってしまっていたという話には、ひどく心が痛みました。

休憩をはさんで「学校における働き方改革の最前線を検証する」と題して、明星大学名誉教授の樋口修資さんの講演。8月に出された中教審特別部会の提言について、その不十分な部分について説明があり、労働基準法に則った勤務時間管理の必要性を訴えて、話をまとめました。



連合大阪2024春季生活闘争総決起集会

「みんなで賃上げ。ステージを変えよう！」

◇日時： 3月1日（金）18:30~19:30

◇場所： 扇町公園（Osaka Metro 堺筋線「扇町駅」下車）

◇会場内配置

(南)		舞 台		(北)	
JEC連合・交通労連・全造幣	基幹労連・JR総連・森林労連	フード連合・運輸労連	電力総連・ゴム連合・連合大阪地方ユニオン	自動車総連・印刷労連・自運労	自治労・全電線・セラミックス連合
				電機連合・税関労組・全自交労連	JR連合・政労連・全労金
					日教組 ・メディア労連・新運転
				UAセンセン・紙パ連合・大阪退職者	JAM・サービス連合・全国ユニオン
					情報労連・航空連合・国公総連
					JP労組・海員組合・労済労連
					私鉄総連・全水道・港運同盟

* 日教組の先頭に大阪教組の青旗、その後ろに市教組の黄色の旗があります。